

参 考 文 献

- 氏原信治 (1968) 淡路島の双翅目・膜翅目、PARNASSIUS(5/6): 4-8
石原保他 (1973) 本四架橋ルート of 島々の昆虫相、動物: 98-101
登日邦明 (1973) 淡路島産蜂類覚え書 (I)、PARNASSIUS(11): 15-17

モンシロモドキを上灘畑田で採集

モンシロモドキ *Nyctemara plagifera* Walker は南方系の蛾として知られているが、淡路島からも藤平明氏によって灘 (黒岩?) と阿万から各1頭が記録されている (本誌 (11): 7)。

筆者は1974年 10月20日の正午近く、洲本市上灘畑田の淡路モンキーセンター内で、草むらから飛び立った本種の1♂を採集したので記録しておきたい。同場所でもう1頭が見られたが得ることができなかった。 (登日邦明)

チビクワガタの採集例

淡路島でチビクワガタ *Figulus binodulus* Waterhouse が発見されたのはごく最近で、1972年秋、本州四国連絡橋公団の委託を受けた愛媛大学農学部昆虫学研究室のメンバーが、三熊山から3頭を記録したものである (石原ほか 1973)。

筆者は1974年9月21日、最初の発見地である三熊山の登山口からしばらく登ったところのシイの木の樹皮下からオオゴキブリと共に本種を1頭見出した。その後知ったのであるが、これより数日前に山崎俊道氏もシイの木の上を歩行中の本種を1頭得ておられる。

尚、三熊山で本種を採集した際、柳学園高校生物部員の広地、木戸、奈良の諸君に大変協力していただいた。記してお礼を申し上げる。 (登日邦明)